



絵には様々な見方があります。自分なりの見方をワークシートによる鑑賞を通し
考え・感じてみてください。

葉祥明は空気を描く画家とも言われています。
あなたはどんな空間を感じますか……

● 「Stary Night」という作品です。

- ・ 葉祥明さんが夜空を描くとき、黒色ではなく青から濃紺の世界として描きます。描くとき、全てをのみこんでしまう黒はなるべく使わないようにしています。だから、暗いはずの夜空にも、透明感のある明るさを感じますね。

夜空には星が瞬き、流れ星も。この作品は絵本
「ほしにいのりを」の見返しに掲載されています。
流れ星に、どんないのり(願い)をしたと思いますか。



● 「花のメロディ」という作品です。

- ・ この作品はある電車の車体に使用され、1983年に実際に運行していました。どこの電車でしょうか。

- ・ 少女と少年が笛を吹いています。
どんな音(曲)を奏でていると思いますか？



- ・ 美術館では、主にヒーリングミュージックのような、心地よい穏やかな音楽を流しています。優しい色合いの作品を観て、心地よい音楽を聴き、穏やかな空間として美術館で寛ぎのひとつをすごして欲しいと考えています。あなたにとって、やすらぎの空間はどこですか？

- この作品が展示されている部屋では「ナイチンゲールに学ぶ家族ケアのこころえ」という本を紹介しています。



- ・この作品のタイトルは何でしょうか。
- ・作品に添えられた言葉は「静けさと音」です。
“ケア”をすることにおいて「静けさ」が必要と説いたナイチンゲールですが、現代の音の溢れる世界で生活している我々にも、やはり「静けさ」が必要です。作品の中の「静寂」を感じて下さい。
- ・草原の中に木が一本、その横に馬が描かれています。
この静かな空間の中に、何かを加えるなら、あなたは何を書き足しますか。
実際に上の絵に描いて見ましょう。
作品の中で新しい物語がはじまります。

作品の世界に入って絵を見ると、作品を深く感じる事ができるよ！